

代表質問通告書

(通告者 6名)

平成23年裾野市議会9月定例会

目

次

9月 7日 (水)

- | | | | | | | |
|---|--------|---------|-------|----|---|-----|
| 1 | 芹澤邦敏議員 | (未来すその) | | 1P | ~ | 5P |
| 2 | 土屋秀明議員 | (市民クラブ) | | 6P | ~ | 7P |
| 3 | 二見榮一議員 | (はやぶさ) | | 8P | ~ | 10P |

9月 8日 (木)

- | | | | | | | |
|---|---------|---------|-------|-----|---|-----|
| 4 | 三富美代子議員 | (公明党) | | 11P | ~ | 12P |
| 5 | 小澤良一議員 | (日本共産党) | | 13P | ~ | 14P |
| 6 | 大庭敏克議員 | (五竜クラブ) | | 15P | ~ | 16P |

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>1. 芹 澤 邦 敏</p>	<p>裾野市は本年、市制40周年という記念すべき年を迎えました。昭和30年代からの国の基幹産業の転換期と合わせ、急激な経済成長を遂げた我が国であるが裾野市においても、それまでの農業中心から富士のすそのに広がる自然豊かな工業のまちとして、昭和35年の「裾野町工場設置奨励条例」の制定以後、多くの大手企業の研究所や工場、知的集約型産業などの立地を受け今日まで発展を続けてきた。その後、市の人口、税収とも堅調な伸びを示しながら昭和58年度からは普通交付税の不交付団体となり、以降28年もの間これを維持してきました。</p> <p>しかしながらリーマンショック後、不況の波は地方へも波及し、我が裾野市でも法人市民税を中心に大幅な減収となり、加えて円高が追い打ちをかけるなど財政状況は益々厳しい局面を迎えています。市民の納める尊い税金は一円たりとも無駄にはできない中で、これまで以上に市政は効率的・効果的に運営され、費用と効果のバランスを常にチェックし、柔軟に見直しが行われるよう予算の使い方に関する仕組みづくりをしていかななくてはなりません。</p> <p>今裾野市が直面する喫緊の重要課題として、一つは駅西區画整理事業に見られる中心市街地の活性化をどうするか、2点目に産業の育成、企業誘致、将来的な税収確保の方策をどうするか、3点目に少子化・あるいは高齢化対策をどのように進めるか、またそれに伴う都市基盤の整備・充実をどう進めるかなどが挙げられます。以下、伺います。</p> <p>(1) 駅西區画整理事業については、6月議会の答弁で事業費の見直しと合わせて公共事業再評価の結果について9月末頃には中間報告できるとされた。また橋上駅舎自由通路建設についても現時点で事業をやめるつもりはないとの答弁があった。7月末に、議会に対して橋上駅舎自由通路の説明がされたが現下の財政状況等から判断し、事業の十分な検討をすべきであり見直しが必要であると考え。今後、事業の見直しも前提に、更なる検討をする考えはないか伺います。</p> <p>(2) 現状の企業誘致（新工業団地）の成果（規模、雇用の確保）はどれくらいか、分かる範囲で伺う。</p> <p>(3) 裾野市が受け身として企業を誘致するだけでなく、行政と民間が提携してこの裾野の地で新しい事業を起す新産業の創出についての計画や可能性は考えられないか、その点について伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 行政改革について	<p>(4) 総合計画にもあるように、近い将来、人口減少・少子高齢化が現実問題となり当市でも集約型都市構造への転換が迫られている。また、これには多額の費用と期間を要するため、交付金等の財源確保に努めることと、さらに、良質な宅地供給による定住化対策を図ることも必要とされている。</p> <p>当分の間、続くことが予測される厳しい財政状況のなかで、当市の将来にとって大変重要なこれらの政策を成功に導くためにどうすればそれが可能なのか方策なりありましたらお聞き致します。</p> <p>裾野市将来都市像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」に向けた最上位計画である第4次裾野市総合計画が本年度からスタートした。計画では行政サービスの充実・発展を図りつつ、厳しい財政状況や市民ニーズの複雑・多様化への対応のため、さらなる効率的で無駄のない行政運営を目指すとしている。</p> <p>また、この総合計画実現のための取り組みとして平成27年度までの向こう5年間を計画期間とした第5次裾野市行政改革大綱が策定されたところであります。以下、伺います。</p> <p>(1) 平成17年度に試行、翌18年度から正式稼働した行政評価制度（システム）が、導入から5年を経過した。評価結果を予算編成時に予算枠などに反映していると聞いているが、ここ最近の歳入減少の折どのように活用しているのか伺います。</p> <p>(2) 第5次行政改革大綱の中で、行政評価制度の改正・導入としてこれまでの事務事業評価から施策評価、基本事業評価制度の構築とあるが、外部コンサルへの委託の有無と導入時期について伺います。</p> <p>(3) 行政評価制度導入時より、市民目線での評価（市民参加の評価委員会）の必要性について会派としても意見してきたが、これについての考えを伺います。</p> <p>(4) 市の事業仕分け実施の噂もあるが、例えば先ほどの評価委員会でも市民の声を十分に反映できると思うがこれについて如何か。</p>	市 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
<p>3 財政力指数低下の状況における扶助費のあるべき姿について</p>	<p>(5) 平成19年度に策定された人材育成基本方針について、3年経過したがこれまでの進捗状況と課題について。また、人事評価制度への活用の実態について伺います。</p> <p>裾野市の財政力指数は、平成12年度＝1.103であったが、その後、徐々に上昇を続けて平成20年度＝1.606となり、平成20年秋の米国リーマンショックにより世界経済はどん底へと落ちて行った。その影響により裾野市の財政力指数は、平成21年度＝1.367だったものが平成22年度＝1.00前後まで低下しているのが現状である。</p> <p>市民からの血税を預かり、市民の安全・安心な生活のために「健康文化都市すその」を目指して各種行政事業が展開されている。普通交付税交付団体になろうとしている現在の裾野市にとって、これまでの税金の使い方を見直さなければならない局面に入っていると考えます。</p> <p>特に、市民から預かった税金を、直接市民にお金で支給する「扶助費」について、特に見直しを行なう必要性を強く感じる場所である。以下、伺います。</p> <p>(1) 過去10年間（H14～H23年度）の当初予算において、性質別歳出項目の「扶助費」の歳出総額に対する割合の推移は、どのような状況となっているか伺います。</p> <p>(2) 同様に、「扶助費」の内の国庫支出金と県支出金を除いた額の、自主財源に対する割合の推移については、どのような状況か伺います。</p> <p>(3) 市税を代表とする自主財源が低下している状況の下で、市民からの税金を直接市民へ支給する「扶助費」のあり方について、現在はどのように評価し、今後はどのようにしていくのかを伺います。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職 名
4 教育現場での課題に対する 取り組みについて	<p>21世紀を生きる子供たちのために、個性や発達段階に柔軟に対応できる教育環境の実現を図ることは喫緊の課題であります。現在の様に全国的に子供たちの学力低下を懸念する声が高まることにより教育の方向性が大きく揺らぎ、教育現場の混乱を招くこともまた事実であります。</p> <p>将来を担うすべての子供たちが「生きる力」をつけ、夢や希望をもって学校や地域社会での生活を送っていくための教育環境の整備は、いつの時代にも必要不可欠であると考えます。以下、伺います。</p> <p>(1) 多忙感を持つ教員が多い中で教員の多忙勤務について、市教育委員会としてこの問題をどのように捉えているのか。また、仕事量も含めた具体的な方策について伺います。</p> <p>(2) 中学校への市費負担による講師の増員や、部活動での外部講師の配置についての要望もあると聞くがこれに対する考えを伺います。</p> <p>(3) 小中学校における図書館司書の配置について、今後どのように考えているか伺います。</p> <p>(4) 子供たちに将来の職業観や勤労観を育むための教育をすることは、たいへん重要であると考えます。現在実施しているものの一例として、小学校での企業見学や中学校での職業体験等が行われているが、これらについての学校サイドも含めた評価と、今後さらにこうした教育の推進を図るうえで取り組むべきものがあれば伺います。</p> <p>(5) 市内にはいくつかの小規模校が存在するが、大規模校とは違った小規模校ゆえに抱える問題もいくつかあると思います。中学校における部活動の選択肢の幅がない等のほかにも、大規模校に比べ教員数が少ないことによる学校運営上の課題もあると察しますが、教育委員会としてどの程度把握しているのか、またそれについての対応策について伺います。</p>	市 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
5 地域医療を守る方策について	<p>心身ともに健康で生涯を生き生きと暮らすことは、人間として誰しも望むところであります。近年の日本人の食生活や社会環境の変化に伴い、がんをはじめとする生活習慣病などの心身の健康を損なう要因が増加しており、自らの健康管理や健康増進に努める市民主体の健康づくりを促進するとともに、いつでも適切な医療が受けられるための医療機関との連携や救急医療、在宅医療の強化・充実が求められております。また、地域医療においては、医療活動と共に予防活動が疾病の治療と同等に重視されています。こうした活動は医療機関単独で担うのではなく、行政や住民組織が協力しあって進めることが重要であると考えます。以下、伺います。</p> <p>(1) 昨今、地域医療の崩壊が大変心配されておりますが、裾野市民をはじめ近隣住民の健康を守り、安心して暮らせる地域をつくるために、地域医療の現状と今後の取り組みについての考えを伺います。</p> <p>(2) 地域の中核をなす裾野赤十字病院は内科、外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科の診療科目を設置しているが、常勤の医師不足により科目によっては休診や入院休止、週一回の外来指定など十分な医療体制が整っているとは言い難い。医師や看護師の増員による救急医療体制の整備・充実が望まれて久しいが、今後の見通しはどうか伺います。</p> <p>(3) 川勝県政スタートから2年が経過をした。知事は東部に医療系大学を設置することをマニフェストに掲げたが、これについては東部地域の医療をより一層充実させ住民の健康を守るためにも、東部地域への医療系大学もしくはメディカルスクールの誘致が必要であると考えます。直接当市への誘致といった話ではないが、現在の状況についてどのようになっているのか分かる範囲で伺いたい。また裾野市としての特に考えがあれば伺います。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>2. 土屋秀明</p>	<p>(1) 今の財政状況をどう捉えているか。</p>	
<p>「税込減の今、市政の変革を問う」</p> <p>1 財政状況</p>	<p>(2) 市債残高と財政調整基金の今年度末での市民一人当たりの額は。</p> <p>(3) プライマリーバランスを守る思考と行動は。</p> <p>(4) 新たな中期財政計画は作成したのか。5年後の歳入の一般財源は今年度と比べてどう見る。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 行政改革</p>	<p>(1) 第5次行政改革の大綱と実施計画。第4次との違いは何か。</p> <p>(2) 過去の行政改革とは全く違う、取り巻く状況が一変している。事務事業の見直し、仕分け、洗い出し、決意の程は。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>3 具体の事業見直しを</p>	<p>(1) 事業費が多額で複数年にわたる事業</p> <p>ア 駅西土地区画整理事業</p> <p>(ア) この事業は何年ごろに構想されたのか。また、改めて事業の目的と完成後の効果を伺う。</p> <p>(イ) 同様の事業は、全国では数多くの自治体に取り組み、休止や縮小など多くが見直されている。どのように思われるか。</p> <p>(ウ) この事業の見直しの結果、完成まで何年かかっても続けていくと言い切れるか。</p> <p>イ 裾野駅自由通路と橋上駅化事業</p> <p>(ア) 裾野駅を挟んだ西、東地区とも区画整理を進めるまちづくり構想がある中での跨線橋による自由通路計画であった。当時とは自由通路の必要性は大きく変化していないのか。地域の人たちの自由通路を求める声はどうか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁要求者 職 名
	<p>(イ) 自由通路事業が国庫補助対象になるには、東口駅前広場の都市計画決定が必要だというのが、現実には非常に困難。とは、補助金なしの事業となる財源確保の方策は。</p> <p>(ウ) 橋上駅舎と自由通路の建設に 30 億円、市は負担しきれないではないか。自由通路のための橋上駅であり、駅は絶対必要なのか。</p> <p>(2) 補助事業 ア (株)ガーデンシティーすその (ア) 各種事業とも思うような進展ができていないと考えるが、どのような考えを持ち、今後の展開を図るにはどのような指導をするのか。</p> <p>(イ) 特別利益に補助金収入が 840 万円計上され、結果的に赤字補填になっている。この補助金は、市の関連との説明ですが、補助内容について伺います。</p> <p>イ 学校給食費の助成 (ア) 給食費の助成内容と総額を小中学校それぞれに伺います。また、何年度から続けているのか。そして、生活が苦しい家庭への給食費の公的扶助など別の助成制度は。</p> <p>(イ) 保護者や学校側から洋式トイレ改善の声は。そして、小中学校で、これから便器を洋式に変えようとする数はいくつ残されているのか。</p> <p>ウ 地域コミュニティの醸成に力を 防災だけでなく、地域づくり、まちづくりをもっと推進するために、地域コミュニティを更に充実、高めるために、今までと違う新たな取り組みに対する考えを伺います。</p>	

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>3. 二 見 榮 一</p>	<p>(1) ファルマバレー構想の具体的な取り組みについて</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 健康産業等の企業誘致について考えているのか。</p> <p>(2) 歳出削減について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 行政改革を主眼に置いた組織再編をすべきではないか。</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 管理職数の削減</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 借地の見直し検討</p> <p style="padding-left: 2em;">エ 補助金見直しの検討</p> <p style="padding-left: 2em;">オ 指定管理者制度・民営化・委託等の推進の徹底</p> <p>(3) 基盤整備について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 当市における県事業による道路等整備状況と市負担金</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 国道 469 号、県道富士裾野線等のこれまでの整備実績と要望回数</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ ミニ区画整理の導入</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 裾野赤十字病院の整備充実について</p>	<p>(4) 住宅建築費助成制度について</p> <p>ア 定住人口増加策として、新築等に対する住宅建築費助成制度を実施する意思はあるか伺う。</p> <p>イ あるとすれば、いつごろまでにやるのかについて伺う。</p> <p>医療は、予防・診療・福祉の3つの柱から活動されている。裾野市としても、裾野市民が安心して信頼できる総合病院として、裾野赤十字病院の整備充実を行う必要がある。</p> <p>(1) 裾野赤十字病院の現状について</p> <p>ア 診療科はどのようになっているか、昨年度に比べて増加しているのか。</p> <p>イ 診療収入（入院含む）は昨年度に比べて増えているのか。（増減の理由は）</p> <p>ウ 診療科の中に、特別に力を入れて進めているものはあるか。</p> <p>エ 休日・夜間の診療受入体制はどのようになっているか。</p> <p>オ 1次救急と2次救急の受入体制についてはどのようになっているか。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
	<p>(2) 救急医療対策補助金 54,000 千円の内容について伺う。何のための補助金で、何年から補助しているのか。</p> <p>(3) 医療機器整備費補助金 13,500 千円の内容について伺う。</p> <p>(4) 救急医療について</p> <p>ア 1次救急として、市内の患者を裾野赤十字病院に搬送したか。何件か。</p> <p>イ 救急当番（2次救急）では、外科系患者の殆どは市外の病院に搬送又は転送されていると思うが、昨年度は何件か。</p>	

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁要求者 職 名
<p>3 福祉施策の推進について</p>	<p>(3) 裾野駅周辺の中心市街地の活性化に向けての対策について、ご見解を伺います。</p> <p>(4) 裾野駅自由通路及び橋上駅舎建設事業の計画について、当市の財政状況を踏まえた計画の見直しに対するご見解を伺います。</p> <p>高齢者や障がいのある人が安心して日々を過ごせるよう、暮らしやすいまちであるためには、支える体制の充実と、健康の維持や生きがいづくりが大切であると考えます。</p> <p>(1) 障がいのある人の社会参加と就労支援について、現状と課題を伺います。</p> <p>(2) 知的・精神障がいのある人への就労支援について、農業就労を推進していくことに対するご見解を伺います。</p> <p>(3) 高齢者を応援する取り組みとして、市民力を活かせる地域づくりに向け、ボランティアによる地域への貢献を評価し、その活動に報いるための「ボランティアポイント制度」の導入について、ご見解を伺います。</p> <p>(4) 高齢者や障がいのある人が緊急時に自らの情報を正確に伝える手段として、氏名や住所、連絡先を記載した「カード」を配布してはいかがでしょうか。</p> <p>「カード」は、名刺サイズの大きさで、万一の事故や災害、急病などで意識を失ったときに、救急隊員や医療機関が的確な情報掌握や適切な処置を素早く行えるようにするものです。氏名や住所のほか、血液型や持病、アレルギー、かかりつけ医療機関、緊急連絡先なども記載することができます。緊急時に適切な対応を可能にするために「カード」の配布について、ご見解を伺います。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">議員 質問事項</p>	<p style="text-align: center;">質問の要旨</p>	<p style="text-align: center;">答弁要求者 職名</p>
<p>5. 小澤良一</p>	<p>国も裾野市も財政が苦しい時に、無駄な事業に税金を使うべきでない。</p>	<p>市長</p>
<p>1 無駄な裾野駅橋上駅と東西自由通路</p>	<p>(1) 裾野駅は1日の乗降客は5千人を超えているが、エレベーターの設置は事業者の責任で行われないのか。事業者が設置が求められているとすれば、なぜ施工されないのか伺う。</p> <p>(2) 市は、裾野駅に自由通路に設けるのに伴い、諸事業費はどの位になると考えているのか伺う。</p> <p>(3) 市税の収入が減少傾向の中、裾野駅の橋上駅や東西自由通路建設事業計画を止める考えはないのか伺う。また、止めることでJRとの関係で問題となることがあるのか伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>2 市税収入減と市民への負担について</p>	<p>市は29年ぶりに、国から財政支援を受ける交付税交付自治体になった。2008年のアメリカ発の金融危機は、日本経済に今も景気回復をさせない程厳しい状況を持続している。この影響は裾野市にとって、市税収入の減少となってきている。市税収入が豊かな時に進められてきた市民への負担軽減策は歓迎されてきているが、来年度以降の考えを伺う。</p> <p>(1) 市民負担軽減策についてどのようにされていくのか伺う。</p> <p>(2) 国や市の財政負担額の大きい事業。裾野駅西土地地区画整理事業はどうしていくのか伺う。</p> <p>(3) 下水道事業は、一般会計からの繰入額は多額であるが、事業についてどのようにされていくのか伺う。</p> <p>(4) 裾野市衛生処理料金審議会から、市長に付議された意見。「浄化槽の管理を確実にする方法を市として検討する」についての市の考えを伺う。</p>	<p>市長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
3 住宅建設やリニューアル事業に助成を	<p>東日本大震災で住宅被害に対する助成制度の必要性が改めて注目されている。</p> <p>(1) 震災等で住宅の全壊、半壊では国からの支援策はあるが、それに該当しない住宅被害は自治体の助成制度を活用することになるが、裾野市はその制度がないので設けてはどうか。国の「社会資本整備補総合交付金」を活用できないか伺う。</p> <p>(2) 市内の建築関係事業者の仕事づくりと市内経済の活況の為に制度新設を伺う。</p>	市 長
4 交通弱者対策	<p>(1) 公共交通空白区域の交通対策を伺う。</p> <p>(2) 裾野市も地域を見ていけば、高齢者地域が増えてきている。公共交通が不便なために、危うい自動車運転をいつまでもしなければならぬ状況にあるが、この対策はどのようにしていくのか伺う。</p>	市 長

質 問 事 項	質 問 の 質 問 旨	答弁要求者 職 名
<p>3 裾野駅西土地区画整理事業 と中心市街地活性化基本計画 策定について</p>	<p>(3) 定年退職者は、過去5年間で約130人位だったが、補充は若年者であり、仕事内容も大変である。経験豊富な者の再雇用を実施して、指導的職務をお願いできないか、お考えをお伺いしたい。</p> <p>(4) 定年退職者対新規採用者の人件費差額はかなり多額になるが、財源不足ではあるが、経験者採用に利用すべきと考えるがいかがかお伺いしたい。</p> <p>(5) 指定管理者で進める事業に対しての人事についての成果と実績はいかがかとお伺いしたい。</p> <p>(1) 裾野駅西土地区画整理事業の今後の対応と計画変更についてお伺いしたい。</p> <p>(2) 中心市街地活性化基本計画策定に伴う計画区域66haを御殿場線西側の29haに変更した理由と地域住民の同意についてお伺いしたい。</p> <p>(3) 裾野駅舎及び自由通路の建設計画と財源確保についてお伺いしたい。</p> <p>(4) 裾野駅舎及び自由通路関係予算として23年度3,600万円を一般会計に計上の予定であるが、別枠で考えるべきであるか、お考えをお伺いしたい。</p> <p>(5) 中心市街地活性化基本計画で御殿場線の東側は計画区域から外れたが、裾野駅舎及び自由通路の必要はどうか、対象住民の人数はどのくらいの人数かお伺いしたい。</p> <p>(6) 平成23年度以降交付団体となり、財政状況は悪化しているが、今後の計画と取り組みについてお伺いしたい。</p>	<p>市 長</p>